

## 感染症患者発生情報（週報）

### 埼玉県内情報 2023 年 第 52 週 (12月25日~12月31日)


#### <全数把握対象疾患の患者情報>

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	1 人 類型 患者 血清型 O157
四類感染症 E型肝炎	1 人 推定感染地域 国内
マラリア	1 人 病型 熱帯熱
レジオネラ症	2 人 病型 肺炎型 2 人
五類感染症 アメーバ赤痢	1 人 病型 腸管アメーバ症
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 人 血清群 A群 3 人
後天性免疫不全症候群	2 人 病型 AIDS 2 人
侵襲性肺炎球菌感染症	5 人
水痘（入院例）	1 人 病型 検査診断例
梅毒	6 人 病型 早期顕症Ⅰ期 1 人、 早期顕症Ⅱ期 3 人、 無症状病原体保有者 2 人
百日咳	2 人 年齢階級 2 歳 1 人、30 歳代 1 人

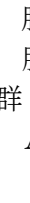
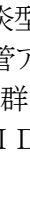


#### ※今週は、年末年始休暇の影響により定点把握対象疾患の動向は参考値となります。

なお、報告定点医療機関はインフルエンザ/COVID-19 定点が 238 カ所（91%）、小児科定点が 151 カ所（92%）、眼科定点が 35 カ所（83%）でした。

#### <新型コロナウイルス感染症発生状況>

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数(4.61→5.92: )は、前週と比較して増加し、第 47 週以降増加傾向が続いている。保健所別では幸手 (8.14→12.79)、南部 (5.75→10.14) 保健所管内で大きく増加し、草加 (9.94) 保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は 43 人（前週 47 人）であった。

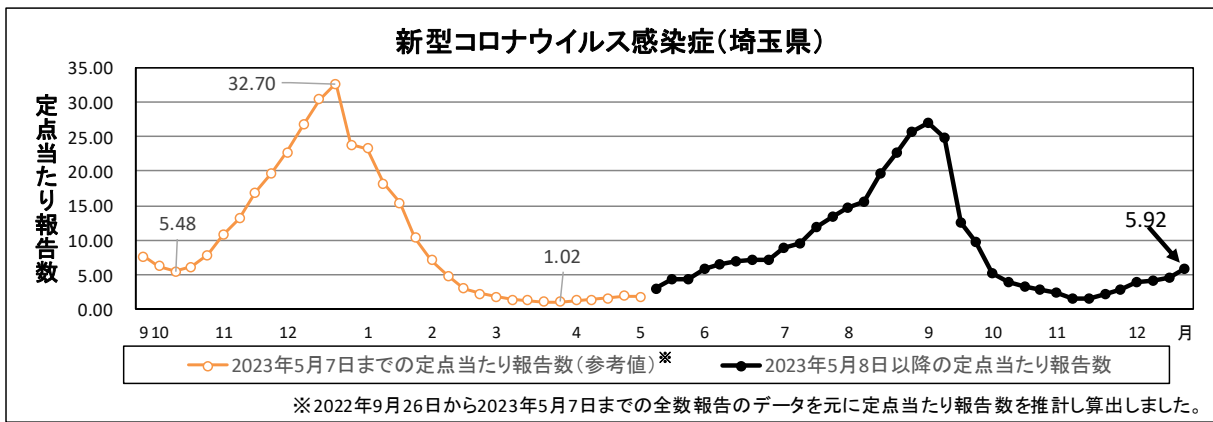
#### <定点把握対象疾患の患者情報>

インフルエンザ (25.32→22.83: ) の定点当たり報告数は、前週に引き続き減少したものの、依然として多い状況が続いている。保健所別では幸手 (37.36)、草加 (32.83)、南部 (32.43) の 3 保健所管内からの報告が多く、定点当たり 30.00 を超えている。年齢階級別では、5 歳の報告が最も多い。咽頭結膜熱 (4.69→3.58: ) の定点当たり報告数は、前週と比較して減少したが、依然として非常に高い水準にある。保健所別では、幸手 (8.22)、春日部 (6.83) 保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、3~5 歳の報告が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (7.04→5.02: ) の定点当たり報告数は、前週と比較して減少したものの、例年同時期と比べ依然として高い水準にある。保健所別では、幸手 (13.11)、南部 (11.00) 保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 1 人、流行性角結膜炎 27 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎 1 人、マイコプラズマ肺炎 1 人、インフルエンザ（入院）() 27 人（前週 22 人）の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ (URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第52週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<インフルエンザ流行情報（第52週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図2-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

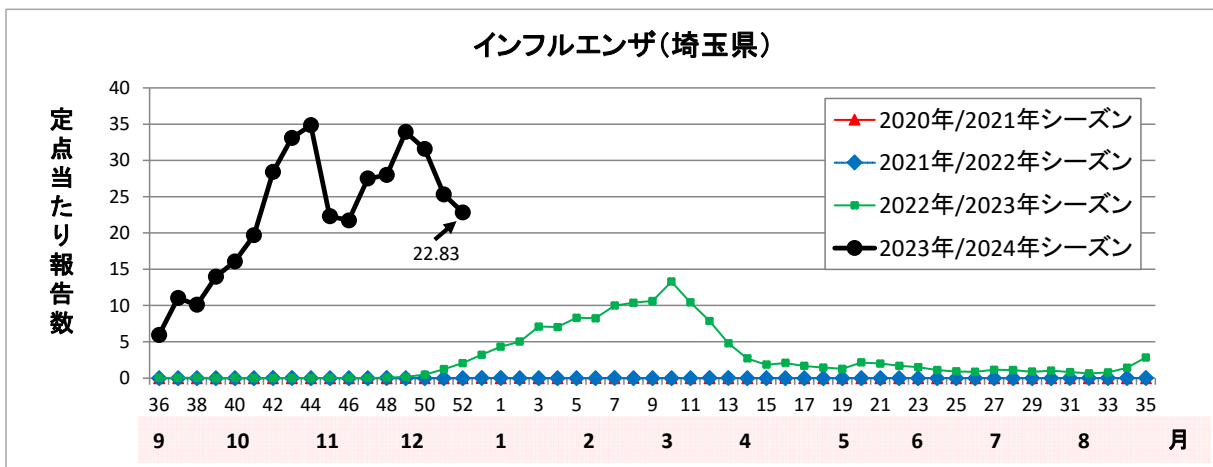


図2-2 インフルエンザの保健所別流行状況の推移（第50週～第52週）

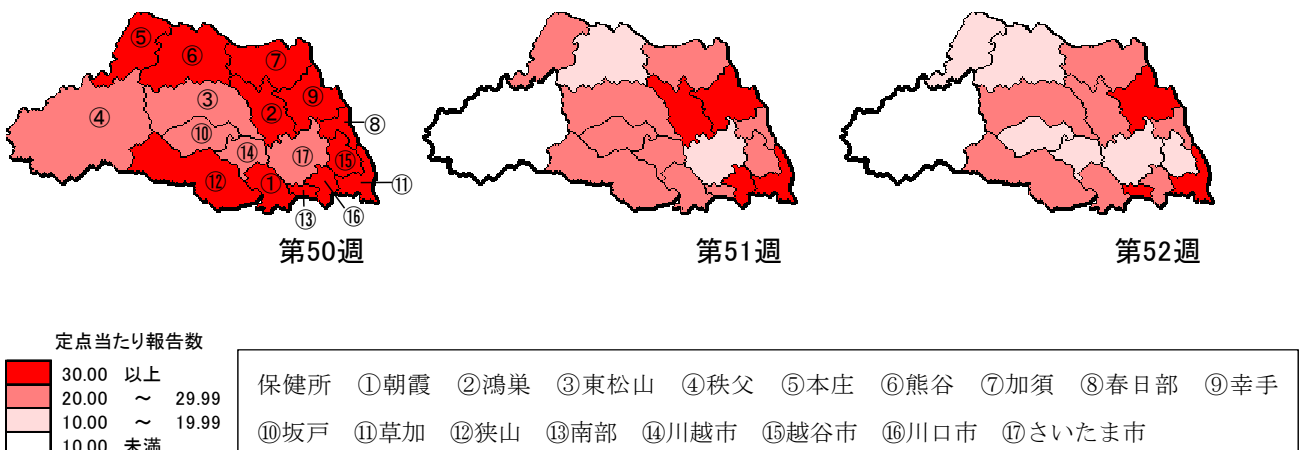
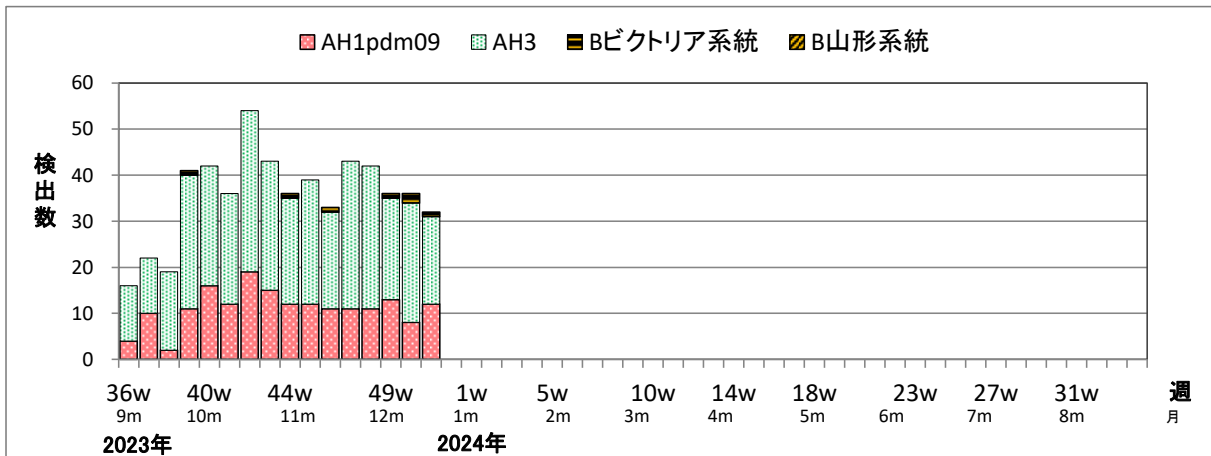


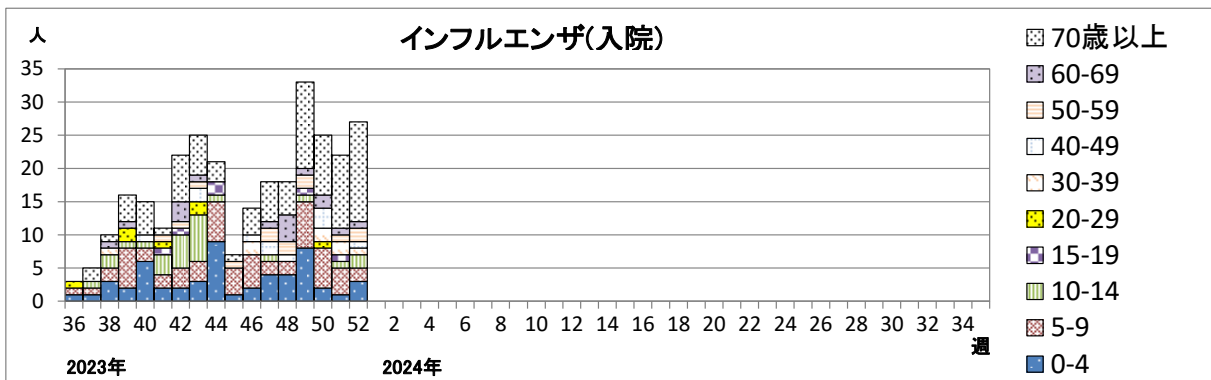
図 2-3 インフルエンザウイルスの週別検出状況



2023年第49週～第51週（2023年12月4日～12月24日）の3週間に採取されたインフルエンザ検体のうちウイルスの型別が終了した105検体は、AH3型が67検体(63.8%)、AH1pdm09型が33件(31.4%)、B型（ビクトリア系統）4件(3.8%)でした。また、1検体はA（亜型不明）でした。

詳細なウイルスの検出状況は、<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html> をご覧ください。

図 2-4 インフルエンザ（入院）の年齢階級別報告数



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図 3-1 咽頭結膜熱の定点当たり報告数の推移

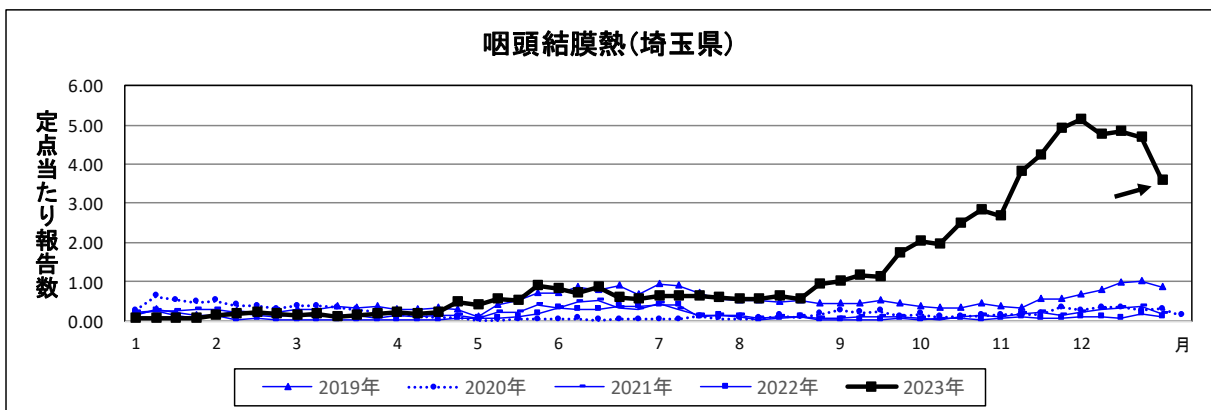


図 3-2 咽頭結膜熱の保健所別流行状況の推移（第 50 週～第 52 週）

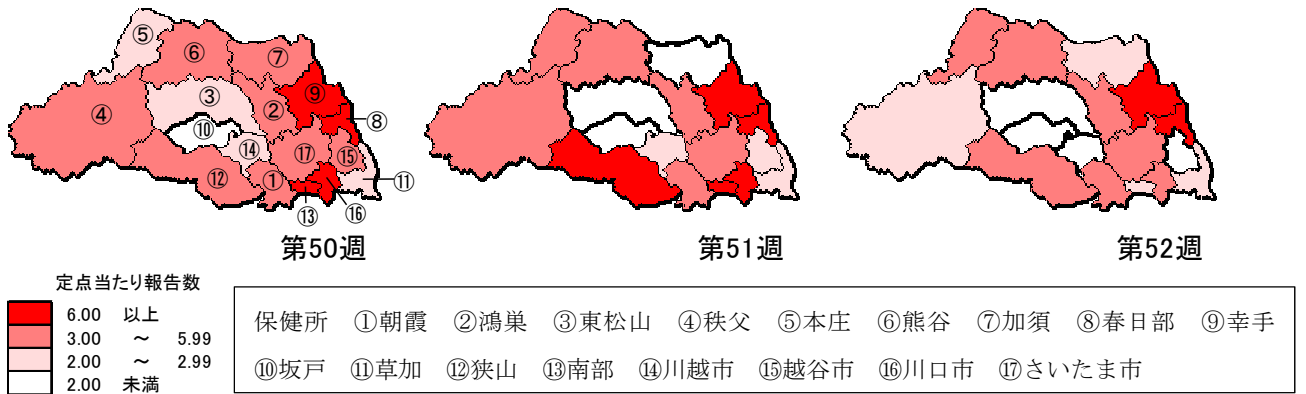


図 4-1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

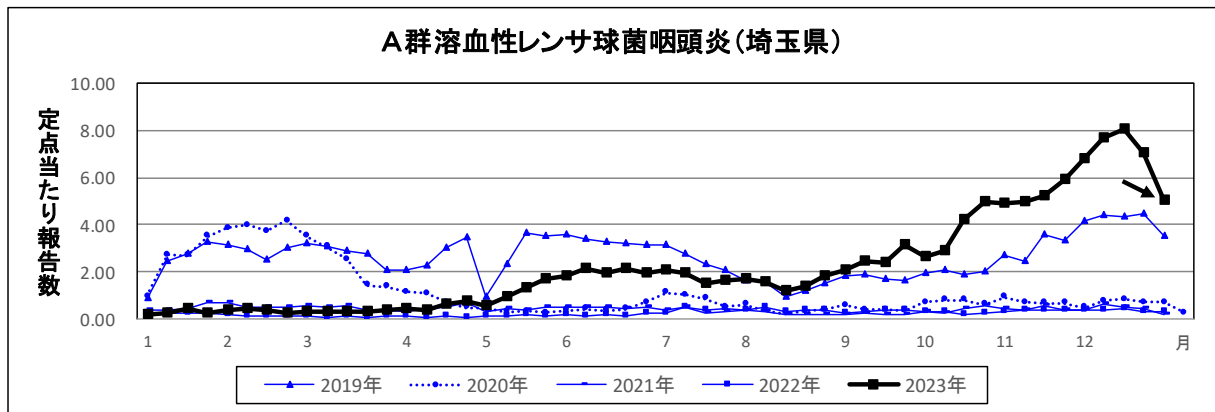
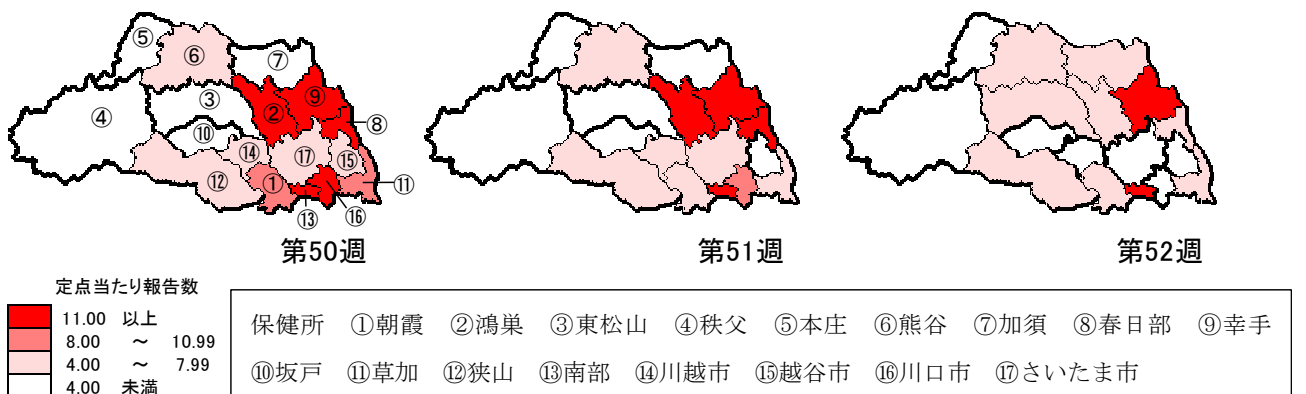


図 4-2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の保健所別流行状況の推移（第 50 週～第 52 週）



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第52週)

(2024年1月4日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス		3
細菌性赤痢		9	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	1	167			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎	1	43	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
エムポックス		5	日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病		1	Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア	1	2
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	112
つつが虫病		3	レプトスピラ症		
デング熱		9	ロッキー山紅斑熱		
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢	1	28	侵襲性肺炎球菌感染症	5	79
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		7	水痘(入院例に限る)	1	13
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		71	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		6	梅毒	6	460
急性脳炎		36	播種性クリプトコックス症		7
クリプトスポリジウム症			破傷風		4
クロイツフェルト・ヤコブ病		8	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	63	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2
後天性免疫不全症候群	2	32	百日咳	2	79
ジアルジア症		3	風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		9	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2023年第52週

12月25日~12月31日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1	感染症	感染症																		
全 県	報告数 5,434	1,408	5	541	758	1,082	39	21	2	25	1	2	1	27	-	1	1	-	-	27	43	
	22.83	5.92	0.03	3.58	5.02	7.17	0.26	0.14	0.01	0.17	0.01	0.01	0.03	0.77	-	0.08	0.08	-	-	2.25	3.58	
朝 霞	報告数 517	107	-	72	82	121	3	13	1	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	2	
	23.50	4.86	-	4.80	5.47	8.07	0.20	0.87	0.07	0.20	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	2.00	2.00	
鴻 巣	報告数 475	122	2	54	81	75	1	3	-	3	-	-	-	4	*	*	*	*	*	*	*	
	26.39	6.78	0.18	4.91	7.36	6.82	0.09	0.27	-	0.27	-	-	-	2.00	*	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	報告数 195	39	-	6	21	77	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	
	24.38	4.88	-	1.20	4.20	15.40	0.40	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	3.00	
秩 父	報告数 27	13	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	1	-	
	5.40	2.60	-	2.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	1.00	-	
本 庄	報告数 81	13	-	16	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
	11.57	1.86	-	4.00	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.00	
熊 谷	報告数 194	74	-	25	38	41	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
	17.64	6.73	-	4.17	6.33	6.83	-	-	-	0.17	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	
加 須	報告数 195	48	-	11	24	1	5	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	7	5	
	21.67	5.33	-	2.20	4.80	0.20	1.00	0.20	-	0.20	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	7.00	5.00	
春 日 部	報告数 233	67	-	41	46	131	-	1	-	-	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*	
	23.30	6.70	-	6.83	7.67	21.83	-	0.17	-	-	-	-	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*	
幸 手	報告数 523	179	-	74	118	24	5	-	-	1	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	37.36	12.79	-	8.22	13.11	2.67	0.56	-	-	0.11	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	報告数 133	46	-	2	7	31	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	8	
	14.78	5.11	-	0.33	1.17	5.17	-	-	-	0.17	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	8.00	
草 加	報告数 591	179	-	25	48	113	6	1	-	1	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	32.83	9.94	-	2.08	4.00	9.42	0.50	0.08	-	0.08	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
狭 山	報告数 556	195	-	70	88	61	4	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	
	24.17	8.48	-	4.67	5.87	4.07	0.27	-	-	0.20	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	2.00	
南 部	報告数 227	71	-	10	44	41	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
	32.43	10.14	-	2.50	11.00	10.25	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.00	
川 越 市	報告数 215	39	-	10	19	24	1	-	-	1	-	-	-	3	*	*	*	*	*	*	*	
	15.36	2.79	-	1.25	2.38	3.00	0.13	-	-	0.13	-	-	-	3.00	*	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	報告数 248	65	-	10	20	60	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
	19.08	5.00	-	1.25	2.50	7.50	0.38	-	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	
川 口 市	報告数 423	48	-	36	35	96	1	-	-	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	4	
	26.44	3.00	-	3.27	3.18	8.73	0.09	-	-	-	0.09	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	4.00	
さいたま市	報告数 601	103	3	71	87	185	8	1	-	7	-	1	-	9	-	1	1	-	-	8	9	
	17.68	3.03	0.13	3.09	3.78	8.04	0.35	0.04	-	0.30	-	0.04	-	1.13	-	1.00	1.00	-	-	8.00	9.00	

( - : 0.00 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

2024年

1月

4日

14:20 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患) 報告患者数 年齢別 (2023年第52週 12月25日～12月31日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	5,434	22	37	180	170	217	244	308	262	229	236	228	854	451	512	456	374	335	165	90	64
新型コロナウイルス感染症	1,408	14	19	30	23	20	16	12	12	16	8	8	77	69	191	155	194	221	126	102	95
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	5	-	1	-	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	541	2	13	60	71	82	80	79	55	40	25	12	17	-	5						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	758	-	2	30	37	51	82	98	92	84	58	58	121	7	38						
感染性胃腸炎	1,082	5	43	137	125	122	104	117	86	71	47	45	83	11	86						
水痘	39	-	-	3	1	2	2	3	-	3	5	6	13	-	1						
手足口病	21	-	1	3	3	5	2	6	-	-	1	-	-	-	-						
伝染性紅斑	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	25	-	3	18	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-						
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	27	-	-	1	2	2	1	-	1	-	1	-	1	-	3	5	6	2	1	1	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1				
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	27	1	2	2	2	-	-	-	-	1	-	1	1	1	1	-	15				
新型コロナウイルス感染症(入院)	43	1	2	-	1	-	-	1	-	-	1	-	2	-	2	2	31				

※ 表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第50週 (12月11日～12月17日)

令和6年1月5日

## <全国情報>

**インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患**: インフルエンザの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(55.17)、宮崎県(53.26)、宮城県(49.13)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,322例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(51例)、1～9歳(362例)、10代(104例)、20代(22例)、30代(30例)、40代(38例)、50代(47例)、60代(104例)、70代(200例)、80歳以上(364例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第47週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は山梨県(9.63)、北海道(9.31)、長野県(8.49)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,320例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(38例)、1～9歳(29例)、10代(10例)、20代(12例)、30代(28例)、40代(33例)、50代(79例)、60代(117例)、70代(341例)、80歳以上(633例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの)**: RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は島根県(0.65)、北海道(0.31)、長野県(0.20)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福井県(7.88)、北海道(7.51)、佐賀県(6.26)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第45週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(9.32)、富山県(8.66)、千葉県(8.30)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は大分県(12.75)、香川県(10.43)、東京都(10.25)である。手足口病の定点当たり報告数は第47週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.64)、鹿児島県(1.53)、愛媛県(1.30)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は東京都(0.07)、石川県(0.07)、岩手県(0.05)、香川県(0.04)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第46週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は富山県(0.24)、香川県(0.21)、鹿児島県(0.20)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.10)、福島県(0.08)、鹿児島県(0.08)、富山県(0.07)である。

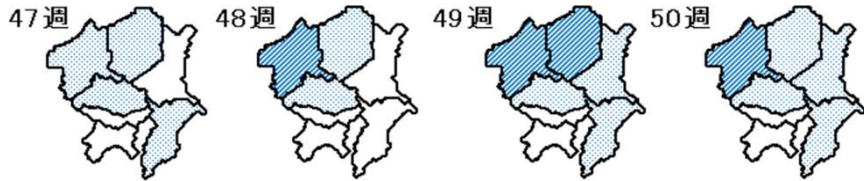
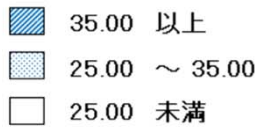
**基幹定点報告疾患**: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福井県(0.50)、京都府(0.43)、石川県(0.40)、岐阜県(0.40)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告は増加した。4都道府県から8例報告があり、年齢別では1～4歳(5例)、5～9歳(2例)、20代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2023年 第50週(12月11日～12月17日): 通巻第25巻 第50号 より

## <関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、群馬県(35.40)からの報告が多い。

### インフルエンザ



2023年 50週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	147,858	40,458	3,529	2,162	3,080	8,241	6,290	8,477	8,679
	定点当たり	29.94	26.60	29.41	28.45	35.40	31.57	30.83	20.48	24.18
新型コロナウイルス感染症	報告数	20,511	5,304	649	353	380	1,097	857	1,069	899
	定点当たり	4.15	3.49	5.41	4.64	4.37	4.20	4.20	2.58	2.50
RSウイルス感染症	報告数	201	30	6	2	1	5	5	8	3
	定点当たり	0.06	0.03	0.08	0.04	0.02	0.03	0.04	0.03	0.01
咽頭結膜熱	報告数	10,966	3,174	182	140	97	794	467	877	617
	定点当たり	3.49	3.32	2.43	2.92	1.80	4.84	3.65	3.36	2.73
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	15,818	6,036	514	171	266	1,318	1,062	1,579	1,126
	定点当たり	5.04	6.31	6.85	3.56	4.93	8.04	8.30	6.05	4.98
感染性胃腸炎	報告数	20,348	7,991	352	272	311	1,478	954	2,676	1,948
	定点当たり	6.48	8.36	4.69	5.67	5.76	9.01	7.45	10.25	8.62
水痘	報告数	559	201	2	4	4	38	21	80	52
	定点当たり	0.18	0.21	0.03	0.08	0.07	0.23	0.16	0.31	0.23
手足口病	報告数	1,406	371	12	28	40	60	34	97	100
	定点当たり	0.45	0.39	0.16	0.58	0.74	0.37	0.27	0.37	0.44
伝染性紅斑	報告数	45	29	2	1	1	-	1	17	7
	定点当たり	0.01	0.03	0.03	0.02	0.02	-	0.01	0.07	0.03
突発性発しん	報告数	652	173	10	7	13	32	22	55	34
	定点当たり	0.21	0.18	0.13	0.15	0.24	0.20	0.17	0.21	0.15
ヘルパンギーナ	報告数	162	32	7	2	3	2	2	9	7
	定点当たり	0.05	0.03	0.09	0.04	0.06	0.01	0.02	0.03	0.03
流行性耳下腺炎	報告数	107	34	-	-	-	9	5	8	12
	定点当たり	0.03	0.04	-	-	-	0.05	0.04	0.03	0.05
急性出血性結膜炎	報告数	12	8	-	-	-	4	2	2	-
	定点当たり	0.02	0.04	-	-	-	0.10	0.06	0.05	-
流行性角結膜炎	報告数	679	256	28	7	1	31	53	39	97
	定点当たり	0.98	1.24	1.65	0.58	0.07	0.78	1.56	1.00	1.90
細菌性髄膜炎 #2	報告数	14	4	-	-	-	1	-	1	2
	定点当たり	0.03	0.05	-	-	-	0.08	-	0.04	0.17
無菌性髄膜炎	報告数	18	6	1	-	-	1	-	1	3
	定点当たり	0.04	0.07	0.08	-	-	0.08	-	0.04	0.25
マイコプラズマ肺炎	報告数	32	11	4	-	-	1	-	2	4
	定点当たり	0.07	0.13	0.31	-	-	0.08	-	0.08	0.33
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	1	-	1	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	0.14	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	8	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)



感染症発生動向調査  
2023年

- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第17週](#)
- ▶ [感染症発生動向調査 2022年](#)
- ▶ [感染症発生動向調査 2021年](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第19週](#)

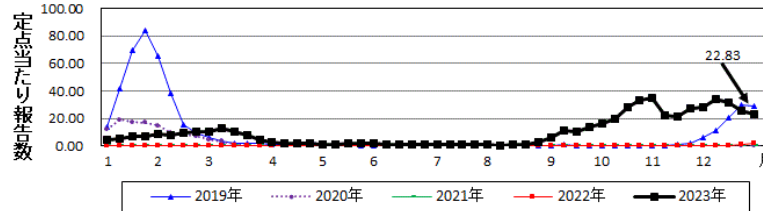
## 感染症の流行状況 2023年 第52週

2023年第52週（12月25日～12月31日）の要点

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週に引き続き減少しましたが、多い状況が続いています。

咳エチケット、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↓	★★	<a href="#">手足口病</a>	→	★
<a href="#">新型コロナウイルス感染症</a>	↑	—	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	→	★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	↓	★★★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↓	★★★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↓	★★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★★★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

